

長崎  
検定

一級  
さん

Vol.50

## 退職後の 充実した日々感謝

い  
わ  
ま  
る  
岩丸

し  
げ  
る  
茂さん

長崎歴史文化観光検定の最難関を突破した1級ホルダー。  
その卓越した識見には、なにやら一言ありそうです。  
ざっくばらんに寄稿願いました。

65歳で仕事を退職する時、ある知人から「退職後、家に閉じこもって本ばかり読んでいたら、いつの間にか外に出ることが出来なくなっていた」と聞いていたのを思い出し、なにか目標を持たなくてはと始めたのが、長崎歴史文化観光検定への挑戦でした。もともと歴史は好きだったので、そこそこ自信はあったのですが、勉強を始めると長崎の歴史をほとんどなにも知らなかったことを痛感いたしました。

私は、初めからいきなり1級から受けようと思っていたのですが、2級に合格しないと1級は受けられないとわかり、勉強を始めて半年後、2級の試験を受け合格。翌年、1級の試験を受けましたが、この時は1級の試験のコツを掴むための小手試しのつもりでしたので、11点足らずの不合格にも納得のいくものでした。しかし1級試験の2回目、この時は合格してやろうと意気込んでいたせいか緊張しすぎて試験の時に手が震えるような状態でした。結果は3点たらずの不合格。そして3回目も2点足らずの不合格。やはり、試験の

時は、うっかりミスが2〜3問はありますので、悔しかったですね。

そしてこれが最後と臨んだ今回、幸運にも合格となりました。振り返ると、退職後長崎歴史文化観光検定という目標を定めて、約5年間お蔭で本当に充実した日々を過ごすことが出来ました。感謝です。

これから検定を受験する皆さんの参考の為に、私の勉強法を少し述べたいと思いますが、参考資料は検定の公式テキストブック、それに新長崎市史普及版「わかる！和華蘭」（長崎新聞社）と「長崎県の歴史散歩」（山川出版社）でした。1級の合格ポイントはやはり、短文記述式問題にあると思います。試験の場で考えをまとめていたのでは、時間的な余裕ありませんので、合格するのは難しいと思います。やはり事前講座の中で短

文記述式に出そうな項目を事前に選び、2000字以内にまとめ、記憶しておく必要があると思いますので、事前講座の受講をおすすめします。

江戸時代、国内唯一の貿易港として最先端の文



【プロフィール】  
昭和26年長与町生まれ、  
長崎市在住。  
長崎北高、長崎大学卒業。  
趣味は、将棋とながさき史跡巡り。

化が花開き繁栄した町、そしてキリシタン弾圧、その後の原爆被爆という悲しみの歴史を刻んだ町ながさき。江戸時代、長崎ほど濃い歴史を生きてきた町は他にはないのではないのでしょうか。長崎検定の勉強を通じて、大好きな町ながさきが誇れる町ともなりました。これからも、長崎の歴史の勉強を深め、また、長崎の史跡巡りを楽しむとともに、長崎史の知識を活かして、身近な人たちが県外の知人が長崎を訪れた時に、長崎の案内役を務めるなど充実した日々を過ごしたいと思っております。

最後に長崎検定の講師の先生方、長崎商工会議所のスタッフの方々に感謝申し上げますとともに、長崎歴史文化観光検定を今後とも継続して頂くようお願い申し上げます。